

# 空蘭のおサイフ

平成19年度  
決算

「室蘭市の財政状況は、本当に大丈夫？」  
「納めた税金は、何に使われているの？」  
いろいろな疑問があると思いますが、  
今回は、19年度の決算や市の借金の状況などについてお知らせします。

まずは、一般会計の19年度決算から見ていきましょう！



## 一般会計

一般会計とは、福祉、教育、道路整備など、市の政策の基本となる会計です。

### 一般会計を家計簿に例えると・・・

#### 収入

項目 (総額)	1人当たり
<b>給料</b>	
市民税など (147億円) (市の予算を支える最も重要な収入)	15万2千円
<b>パート収入</b>	
使用料・手数料・負担金など (45億円) (住民票の写しなどの発行手数料や公共施設使用料など)	4万7千円
<b>親からの援助</b>	
地方交付税・国・道支出金など (172億円) (財政力不足に応じて、国から交付されるお金など)	17万8千円
<b>銀行からの借り入れ</b>	
市債 (41億円) (施設を建てる時などに長期で借りるお金)	4万2千円
<b>兄弟などから返してもらったお金</b>	
貸付金元利収入 (16億円) (制度融資などにかかる貸付金元利収入)	1万7千円
<b>預金の引き出し</b>	
繰入金 (16億円) (基金(貯金)などから受け入れたお金)	1万6千円
<b>総収入 (437億円)</b>	<b>45万2千円</b>



差し引き5千円の余裕があるように見えますが、給料やパート収入だけでは生活できません。親からの援助や、さらに借金をしながら生活をしているのが現状です。これからも我慢できるところは我慢をし、より一層の節約・削減に努めます！

#### 支出

項目 (総額)	1人当たり
<b>食費</b>	
人件費 (80億円) (職員の給料や退職金など)	8万3千円
<b>家族の医療費</b>	
扶助費 (89億円) (生活保護などの福祉や医療にかかる費用)	9万3千円
<b>光熱費などの雑費</b>	
物件費・補助費など (64億円) (光熱水費や消耗品費、各種団体への補助金、広域連合負担金など)	6万6千円
<b>車や家具の修理代</b>	
維持補修費 (5億円) (建物の小規模な修繕などにかかる費用)	5千円
<b>子どもへの仕送り</b>	
繰出金 (76億円) (特別・企業会計への負担金や補助金)	7万8千円
<b>ローンの返済</b>	
公債費 (42億円) (借金(市債)の返済にかかる費用)	4万3千円
<b>家の増改築費</b>	
普通建設事業費・災害復旧費 (50億円) (学校や道路・公園などの整備にかかる費用)	5万1千円
<b>兄弟などに貸したお金</b>	
貸付金 (16億円) (制度融資などのための貸付金)	1万7千円
<b>預金</b>	
積立金 (10億円) (基金への積立金)	1万1千円
<b>総支出 (432億円)</b>	<b>44万7千円</b>

※家計簿内の各金額は、19年度一般会計決算額(カッコ内)を同年度末の人口で割った1人当たりの金額です。



次に、特別会計と企業会計の19年度決算の状況を見てみましょう！

## 特別会計

特別会計とは、国民健康保険など、使い道が決まっている特定の収入があり、一般会計と分ける必要がある特定事業の会計です。

土地区画整理会計は、事業が完了し、役割を終えたため、19年度末で廃止しました。  
住宅事業会計は20年度から、一般会計で経理することになりました。

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険	119億5,400万円	120億5,600万円	△1億200万円
土地区画整理	4億2,000万円	4億2,000万円	0円
住宅事業	12億8,700万円	12億6,800万円	1,900万円
老人保健	120億7,500万円	121億4,700万円	△7,200万円
介護保険	57億1,200万円	56億3,300万円	7,900万円

## 企業会計

企業会計とは、水道や病院など、民間企業と同様に料金収入などにより、運営する会計です。



収益的収入・支出って？  
通常の経営活動で発生する収入と支出のことです。

資本的収入・支出って？  
将来の経営活動のために行う、施設などの建設改良に必要な収入と支出のことです。

会計名	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
水道	20億3,800万円	18億2,100万円	6億5,400万円	10億5,400万円
工業用水道	1,600万円	600万円	—	—
病院	96億4,800万円	99億2,200万円	4億4,900万円	7億2,400万円
中央卸売市場	2億3,100万円	2億100万円	2,000万円	4,000万円
白鳥台開発	3億2,400万円	3億2,900万円	—	—
港湾整備	2億6,200万円	2億7,000万円	20億5,500万円	1億4,800万円
下水道	27億4,300万円	21億9,200万円	23億8,900万円	28億5,100万円

白鳥台開発事業会計は、事業が完了し、役割を終えたため、19年度末で廃止しました。



次は、平成20年度上期（4～9月）の執行状況をお知らせします！

## 平成20年度予算上期の執行状況

■一般・特別・企業会計の執行状況（前年度からの繰越事業費を含む）

会計名	予算現額	歳入		歳出	
		収入済額	執行率	支出済額	執行率
一般	436億円	181億円	41.5%	198億円	45.4%
特別	201億円	76億円	37.8%	88億円	43.8%

会計名		予算現額	執行済額	執行率
企業	収益的	147億円	74億円	50.3%
	資本的	144億円	70億円	48.6%
業	収益的	75億円	29億円	38.7%
	資本的	66億円	17億円	25.8%

■市の借入金の状況

○市債残高

会計名	残高
一般	440億円
企業	346億円

○一時借入金の残高

会計名	残高
一般	21億円
企業	126億円

借金の状況などを教えてもらおう！



前に「赤字の比率」が、室蘭市は全国ワースト5位、全道でも3位と新聞で見たけど、大丈夫？夕張市のようにならないの？



夕張市が財政破たんしたことをきっかけに、各市町村の厳しい財政状況が注目を集めましたね。平成19年6月には「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が制定され、財政の健全化度合いを判断する5つの比率（健全化判断比率・右表参照）が示されました。法律で定める基準よりも比率が下になると、財政状態は安定しているといえます。室蘭市の比率は、平成19年度決算をもとに計算した結果、市場会計と港湾会計を除き、すべて基準より下回りました。

### 【財政の健全化度合いを判断する比率】

区 分	早期健全化基準	室蘭市の比率
実質赤字比率 一般会計の赤字額の割合	12.21	赤字額なし
連結実質赤字比率 全会計の赤字額の割合	17.21	5.8
実質公債費比率 借金返済に充てている割合	25.0	8.9
将来負担比率 将来負担しなければならない借金の割合	350.0	134.7

基準より下赤字や借金の額はまだ危機的状況ではない

資金不足比率 企業会計の赤字（資金不足）の割合		
会 計 名	経営健全化基準	室蘭市の比率
病 院 会 計	20.0	9.9
市 場 会 計	20.0	281.9
港 湾 会 計	20.0	989.3

基準より上赤字を早急に整理しなければならない



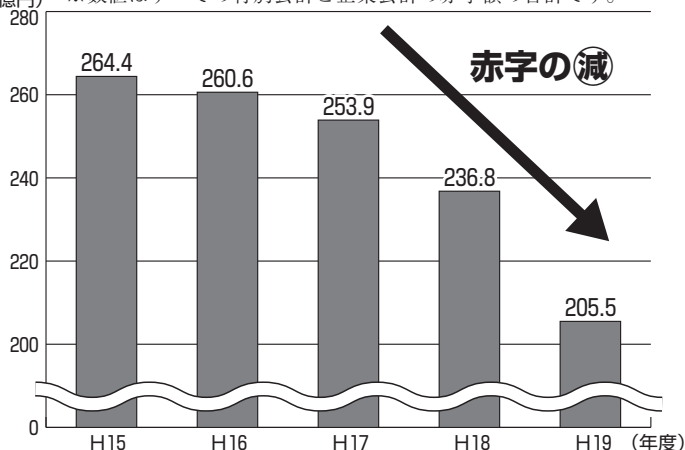
それじゃあ、市場会計と港湾会計の赤字（資金不足）だけを整理すればいいんでしょ？それ以外に何が問題？



市場会計と港湾会計以外の健全化判断比率は、法律で定める基準以下でしたが、特別会計と企業会計は赤字の状態が何年も続いて、足りない分の穴埋めをするために、金融機関等からお金を借りています。赤字額は、一番多かった平成4年度末には、約356億円にもなりました。その後、平成19年度末には、約206億円まで減りましたが、多額なことには変わりありませんので、これからも赤字額を減らしていく必要があります。

### 【特別会計と企業会計の赤字（資金不足）の推移】

（億円） ※数値はすべての特別会計と企業会計の赤字額の合計です。

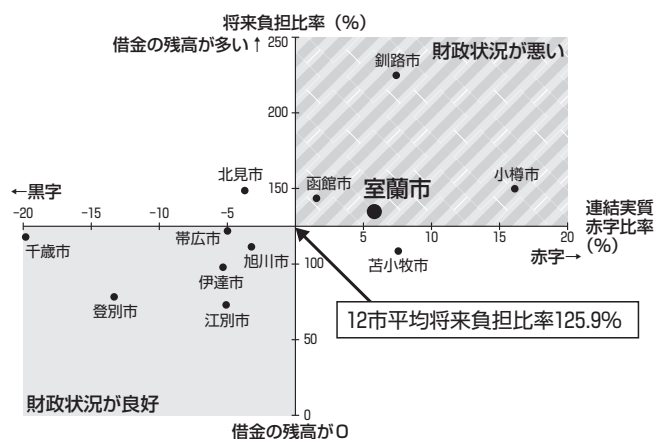


数字が大きすぎて、金額だけ言われてもちょっと分からないなあ〜。ほかのまちはどうなっているの？



では、道内の主な市の状況を比較した右表を見てみましょう。簡単に言うと、横軸は赤字（連結実質赤字比率）、縦軸は借金の残高（将来負担比率）を表していて、右に行くほど、上に行くほど、財政状況が悪いということです。室蘭市は、残念ながら、右上の「財政状況が悪い」位置にあります。できるだけ早く左下の「財政状況が良好」なグループに入れるよう、赤字と借金の残高の解消に取り組んでいきます。

### 【主な市との比較】



市の財政状況は、市ホームページでも見るすることができます。また、予算の執行状況などの詳しい内容を記載した「財政事情説明書」を財政課（市役所3階）、蘭東支所（えきがるセンター）でご覧になれます。

《詳細》財政課 ☎2268 <http://www.city.muroran.lg.jp/main/org2300/kessan.html>